

# 病虫害発生予察注意報第 1 号

平成 28 年 7 月 21 日  
三重県病虫害防除所

1. 対象作物 : 水稻
2. 対象病虫害名 : いもち病(葉いもち・穂いもち)
3. 発生地域 : 県内全域
4. 発生時期 : 7 月中旬～8 月中旬
5. 予想発生量 : やや多～多

## 6. 注意報発令の根拠

- 1) 巡回調査圃場(7 月第 2 週)では、葉いもちの発生圃場率 12.7%(平成 23.6%)、発病度 0.6(平成 2.3)と少ないながらも圃場で発生が認められました。しかしながら、発病株における上位葉への病斑進展率は 14.9%(平成 1.6%)と、平年に比べて上位葉での発病が多くなっています。
- 2) いもち病発生予測支援システム(ブラスタム)によると、6 月中旬以降、県内の広い範囲でおよそ 10 日間隔で感染好適条件が出現し、引き続き注意が必要な状況です。
- 3) 1 か月予報(7 月 14 日・名古屋地方気象台発表)によると、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。既に葉いもちを発病している圃場では、上位葉に病斑が進展する可能性があります。

## 7. 防除上の注意事項

- 1) 葉いもちが発生している圃場では、出穂前に葉いもち防除を徹底しましょう。
- 2) 穂いもち防除は予防散布が原則です。出穂期から穂揃期に薬剤散布しましょう。
- 3) 雨天が続く可能性があるため、天気予報を参考にしながら、雨の合間を見計らって防除を行いましょう。
- 4) 追加防除を行う場合は農薬使用回数に注意しましょう。薬剤の選定は最寄りの農協等にご相談ください。
- 5) 薬剤散布をする時は周囲に飛散しないよう注意しましょう。
- 6) 飼料用水稻などの普通期水稻は、これから最も葉色が濃くなり、発病しやすい時期となるので注意しましょう。
- 7) QoI 剤(ストロビルリン系殺菌剤)の使用は最大年 1 回とし、耐性菌の発生を未然に防ぎましょう。
- 8) QoI 剤を使用したにもかかわらず、ずり込み症状などの発病があれば、病虫害防除所、農業研究所、農業改良普及センターや農協等へ速やかにご連絡ください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください！